※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　工業科（電気系列）

教科	工業	科目	電気実習ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	自作プリント教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

電気工学の基礎である直流回路、関数電卓の使用方法、第二種電気工事士に関する基礎的な実習を学ぶうえで基本となる工具の使用方法、電線の接続、簡単な配線工事についてについて学習します。電気工事の基礎的内容となっていますので、しっかり取り組むことが重要です。

２　学習の到達目標

〇電気理論を活用し、電気計測および電気工事の配線技術を修得できる力を身につける。
〇電気計測および電気工事の配線技術を柔軟に活用し、自由度の高い表現力を身につける。
〇主体的に学習課題を提起し、実習諸課題に取り組む態度・姿勢を醸成する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	電気工事に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、現代社会における工業の意義や役割を理解している。 電気工事に関する基礎的・基本的な技術・技能を身につけ、実験精度・作業精度を向上させるために、その技術を適切に活用している。	電気工事に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創造する力を身につけている。	電気工事に関心をもち、主体的に意欲をもって習得をめざす姿勢を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	直流回路	直流回路について	a: 直流回路について理解し、どのように取り組んだらよいかを把握できる知識を習得し、確に取り組むことができる。 b:自ら考え、限られた時間内に効率よく判断する判断を身につけている。	学習状況の観察 作品の完成度 レポートの内容	学習状況の観察 レポートの内容 自己評価・相互評価	学習状況の観察 受講態度の観察 自己評価

※令和４年度以降入学生用

			c: 直流回路の実験に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。	自己評価		
	電気工事	・電気工事用の材料及び工具の使用方法 ・電線の接続 ・簡単な配線工事	a: 電気工事の配線作業方法を熟知し、正確に作業することができる。電気工事の作業について理解し、どのように取り組んだらよいかを把握できる知識を習得している。 b: 自ら考え、限られた時間内に効率よく判断する判断を身につけている。 c: 電気工事の作業に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。	学習状況の観察 作品の完成度 レポートの内容 自己評価	学習状況の観察 レポートの内容 自己評価・相互評価	学習状況の観察 受講態度の観察 自己評価

※ 表中の観点について a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度